

令和元年 9 月定例会 自民党が提案し可決された意見書

第 20 号発議案「拉致事件の即時解決を求める意見書」 【全会一致 可決】

小泉元総理が訪朝し、金正日総書記が拉致を認めて謝罪してから 17 年を迎えたが、未だ解決に至っていないことは、痛恨の極みである。拉致問題の解決に向けて、あらゆるチャンスを見逃さず、積極的に北朝鮮に働きかけるとともに、国際的連携のもと、あらゆる手段を講じて全拉致被害者の即時一括帰国を実現するよう強く要望する。

第 21 号発議案「私学助成の充実を求める意見書」 【全会一致 可決】

教育基本法第 8 条及び教育振興基本計画の趣旨に則り、私学助成に係る国庫補助制度を堅持するとともに、より一層の充実を図るよう強く要望する。

第 24 号発議案「新潟県議会議員の議員報酬、期末手当及び政務活動費の特例に関する条例」 【全会一致 可決】

令和元年 11 月 1 日から令和 5 年 4 月 29 日までの間（今任期期間中）、議員報酬、期末手当を 10%、政務活動費を 15%削減する。

第 25 号発議案「あおり運転、ながら運転等の撲滅に関する意見書」 【全会一致 可決】

国民の生命を守り、安全で安心な社会の構築に向けて、重大事故を誘発する恐れのある悪質なながら運転や、あおり運転などの撲滅に向けて、厳罰化や法的根拠を明確にすることを強く要望するとともに、併せて、あおり運転を誘発させる運転を行うことのないよう、交通ルールや運転マナーの向上に向けた対応を強化することを強く要望する。

令和元年 9 月定例会 自民党が賛成し可決された意見書

第 22 号発議案「地方の地域医療を守ることを求める意見書」

国の医療制度改革にあたっては、地方の実情を十分配慮するとともに、不採算医療を担う自治体病院との公的病院の役割に鑑み、交付金等の支援を行い地域医療を守ることを強く要望する。【全会一致 可決】

第 23 号発議案「地域公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書」

地域公共交通遺児・拡充のため、国の財政支援措置を拡充することを強く要望する。【全会一致 可決】

未来にいがたが提案し否決された意見書

第 26 号発議案「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」

日本は、世界で最初の被爆国であり、世界が二度と核兵器を使用することのないよう、核兵器不保持を国際社会に誓約するとともに、国連総会において核兵器の全面的廃絶に向けた共同行動決議を提出し、核不拡散にも積極的に取り組んできたところである。

条約への参加は、核兵器廃絶を目指す一方で、日本の安全保障は核兵器を所有する米国との同盟に頼るという矛盾を抱えることとなる。当時の岸田外相も、「核兵器国と非核兵器国の対立を一層深めるという意味で、逆効果にもなりかねない」と表明しており、また、外交問題や国防に関する事項は国の専権事項で、地方議会には馴染まないとの意見もあり、反対する。 【賛成少数 否決】